

洋上風力発電の^{オーアンドエム}O&M(運用・保守管理)に特化した トレーニング設備の完成と今後の展開について

1 概要

北九州市が2011年から進めている「グリーンエネルギーポートひびき」事業において、O&Mは風力発電関連産業の総合拠点化における拠点機能の1つ※として位置付けている。

このO&M拠点形成の取組みの一環として株式会社北拓と株式会社商船三井が進める、洋上風力発電のO&Mに特化したトレーニング設備は、2022年度及び2023年度に経済産業省が公募した「洋上風力発電人材育成事業費補助金」事業に採択され、本年5月21日、日本で初となる実機の風車基礎を使用したトレーニング設備を北拓北九州支店の敷地内に開設した。

本設備は、海域の観測データを用いて様々な洋上の状況を再現できる訓練設備であり、厳しい自然条件下で、効率的・経済的なメンテナンスを求められる洋上風力発電のO&Mに不可欠なメンテナンス技術者を養成するものである。

※「総合拠点」を担う4つの拠点機能

- ① 積出・建設拠点機能：風車の事前組立や搬出等を行う
- ② 製造産業拠点機能：基地港湾の直背後地に関連の製造業を集積させる
- ③ O&M拠点機能：風車の運転監視や維持管理を行う
- ④ 物流拠点機能：風車部材の搬出入等を行う
(O&Mは「オペレーション アンド メンテナンス」の略)

2 トレーニング設備

- (1) 所在地 北九州市若松区響町一丁目122-13(株北拓 敷地内)
- (2) 大きさ 高さ約23メートル、直径6~6.7メートル(円柱型)
- (3) 竣工 令和6年5月21日
- (4) 事業計画 保守管理人材を1年間で150人、10年間で1,500人程度育成予定
- (5) 提供訓練 ダビッドクレーン点検・使用、作業員輸送船から風車への乗り移り、
タワーボルトの増し締め、ロープアクセスによるタワーの内部点検 ほか
(詳細は別紙参照)

3 今後の展開

本年7月から設備を本格的に稼働させ、当面は洋上風力発電関連の企業を中心に、秋頃までに100名程度を受け入れていく予定である。

今後は、洋上風力発電関連事業者、新規参入者やインターンシップのほか、陸上風力や海外からの訓練生も対象に、戸畑区において風力発電の安全訓練を提供しているニッスイマリン工業(株)とも連携しながら、様々な要望に応じた実践的な訓練を提供していく。

北九州市は、企業や関係機関と連携しながら、訓練設備のPR等の支援を行っていく。

